

藤井 紀文

ふじい のりふみ

藤井 紀文 Fujii Norifumi

健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 講師
E-mail : n-fujii@hcu.ac.jp

学歴・学位 広島国際大学 保健医療学部 理学療法学科 卒業

広島国際大学 医療・福祉科学研究科 医療工学専攻 博士課程前期 卒業 修士

広島国際大学 医療・福祉科学研究科 医療工学専攻 博士課程後期 卒業 博士（医療工学）

主要職歴 2013年4月～2018年3月 医療法人社団おると会 浜脇整形外科病院 リハビリテーション科

2018年4月～2024年3月 医療法人社団曙会 シムラ病院 診療技術部 リハビリテーション科

2024年4月～ 広島都市学園大学 健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学
専攻 講師

専門分野 骨粗鬆症、骨微細構造、骨代謝、ロコモティブシンドローム、転倒予防、運動器理学療法

主な担当科目 老年期理学療法治療学、理学療法学研究法、理学療法学研究法演習

研究テーマ ・メカニカルストレスと骨密度や骨微細構造の関係性に関する研究

- ・運動機能評価と骨密度や骨微細構造の関係性に関する研究
- ・骨粗鬆症治療薬と運動療法の併用に関する研究
- ・転倒予防や骨折予防に関する研究
- ・骨粗鬆症リエゾンサービスの発展に寄与する研究

ひとこと 理学療法士は、人の役に立つことのできるとても魅力的な仕事です。私自身、理学療法士になって良かったと心の底から思います。学生の皆さまには、早く理学療法士になりたいと思っていただけるような、理学療法士の魅力が伝わる講義を行っていきたいと思います。大学生活は楽しい反面、様々な悩みを抱えることもあるかと思えます。困った時は1人で悩まず、お気軽に研究室までお越しください。

その他（所属学会・団体）

主な所属学会

日本理学療法士協会、日本骨粗鬆症学会、日本骨形態計測学会、日本運動器理学療法学会、日本予防理学療法学会、日本ウイメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会

主な社会活動

公益社団法人広島県理学療法士会 理事（事務局 財務部長）

研究活動

学術論文 Update: 2024/04/09

- 1) 脊椎椎体骨折後の理学療法・リハビリテーション —理学療法士が確実に押さえておくべき 2 つのポイント— 藤井紀文. 理学療法の臨床と研究 34(1) 8-14 2024年3月
- 2) FOSTA 指標と大腿骨近位部 BMD・Hip Structural Analysis パラメータの関係性 藤井 紀文, 塚本 学, 浅野 圭, 池尻 好聰, 吉岡 徹, 澤 幹也, 大林 賢司, 伴 卓郎, 村田 英明, 沖本 信和. 日本骨形態計測学会雑誌 33(2) 44-45 2023年11月
- 3) HRpQCT を用いたテリパラチドの骨構造に及ぼす影響の検討と、実臨床におけるテリパラチドの逐次療法の効果 沖本信和, 藤井紀文, 塚本学. 日本骨形態計測学会雑誌 33(2) 14-15 2023年11月
- 4) Effects of Gluteus Maximus Muscle Activity and Pelvic Width on Dynamic Frontal Plane Hip Joint Stiffness During Gait in Healthy Young Women. Shogo Takano, Yoshitaka Iwamoto, Norifumi Fujii, Rei Konishi, Junya Ozawa, Nobuhiro Kito. Journal of sport rehabilitation 1-7 2023年4月12日
- 5) メカニカルストレスの増減に伴う骨の変化 荷重による四肢骨の構造変化と整形外科医としての役割 塚本 学, 田島 貴文, 山中 芳亮, 藤井 紀文, 沖本 信和, 中村 英一郎, 酒井 昭典. 日本骨形態計測学会雑誌 32(2) 36-37 2022年11月
- 6) 日常生活活動の制限は、骨粗鬆症を呈する閉経後女性の大腿骨近位部の骨密度・構造力学指標に関連する 藤井紀文, 沖本信和, 塚本学, 浅野圭, 池尻好聰, 吉岡徹, 田島貴文, 山中芳亮, 川崎展, 木藤伸宏. 第42回日本骨形態計測学会雑誌 32(2) 68-69 2022年11月
- 7) 薬剤の分野でトピックとなっている論文のレビュー 沖本 信和, 藤井 紀文. 日本骨粗鬆症学会雑誌 = The journal of Japan Osteoporosis Society / 日本骨粗鬆症学会学術誌編集委員会 編 8(4) 609-613 2022年
- 8) Daily activity relates to not only femoral bone mineral density, but also hip structural analysis parameters: A cross-sectional observational study. Norifumi Fujii, Nobukazu Okimoto, Manabu Tsukamoto, Norimitsu Fujii, Kei Asano, Yoshiaki Ikejiri, Toru Yoshioka, Takafumi Tajima, Yoshiaki Yamanaka, Yukichi Zenke, Makoto Kawasaki Junya Ozawa Takuya Umehara Shogo Takano Hideaki Murata Nobuhiro Kito. Osteoporosis and sarcopenia 7(4) 127-133 2021年12月

- 9) Differences in the effects of BMI on bone microstructure between loaded and unloaded bones assessed by HR-pQCT in Japanese postmenopausal women. Norifumi Fujii, Manabu Tsukamoto, Nobukazu Okimoto, Miyuki Mori, Yoshiaki Ikejiri, Toru Yoshioka, Makoto Kawasaki, Nobuhiro Kito, Junya Ozawa, Ryoichi Nakamura, Shogo Takano Saeko Fujiwara. Osteoporosis and sarcopenia 7(2) 54-62 2021年6月
- 10) 荷重による骨への機械的刺激と骨微細構造変化 ―運動と骨折予防の観点から― 塚本学, 田島貴文, 山中芳亮, 藤井紀文, 沖本信和, 酒井昭典. 第41回日本骨形態計測学会記録集 32-33 2021年
- 11) 骨粗鬆症を呈する閉経後女性の骨密度および骨微細構造に及ぼす影響を調査した研究 藤井紀文. 広島国際大学博士論文
- 12) 健常者における歩行中の下肢関節運動の特徴とその関係性 藤井紀文, 木藤伸宏, 廣濱賢太, 高野翔吾, 岩野巧. 医療工学雑誌 (12) 23-33 2018年

その他（保有資格・受賞歴・学会発表等）

保有資格

骨粗鬆症マネージャー

認定理学療法士（運動器）

受賞歴

- 1) 学術奨励賞, FOSTA 指標と大腿骨近位部 BMD・Hip Structural Analysis パラメータの関係性, 第43回日本骨形態計測学会 2023年6月
- 2) 若手研究者賞, 日常生活活動の制限は, 骨粗鬆症を呈する閉経後女性の大腿骨近位部の骨密度・構造力学的指標に関連する, 第42回日本骨形態計測学会 2022年7月

学会発表

国際学会発表 3編

国内学会発表 20編

講演

- 1) 理学療法士の専門性を、OLS 活動にどのように活用し応用するか 藤井紀文 安芸 Hiroshima OLS seminar 2023年2月15日
- 2) 理学療法士が知っておくべき骨粗鬆症知識+a 藤井紀文 Physiotherapy Hiroshima 研修会 2021年11月16日
- 3) ケガの予防 ～正しいストレッチ及びトレーニング理論と実践 藤井紀文 第50回広島県中学校運動部活動指導者研究大会 2019年11月8日

外部資金の獲得状況

- 1) HR p QCT を用いた閉経後骨粗鬆症女性における骨微細構造・BMD 値の荷重骨・非荷重骨での違いと影響を与える因子の研究 公益財団法人骨粗鬆症財団研究助成 2021 年 沖本 信和, 吉岡 徹, 浅野 圭, 池尻 好聰, 森 美由紀, 藤井 紀文, 塚本 学
- 2) 運動パターンの異常に着目した変形性膝関節症発症予備群のスクリーニングテストの開発 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 基盤研究(C) 2015 年 4 月 - 2018 年 3 月 木藤 伸宏, 阿南 雅也, 内田 茂博, 小澤 淳也, 藤井 紀文, 高野 翔吾, 中富 智子

令和 6 年 4 月 9 日